

子どもたちに 自然とのふれあいを

美しい風景に感動したり、いきものを観察したり、
大自然の中での「出会い」は、私たち自身が自然の一員であることを教えてくれたり、
自然や人を大切にする心を育んでくれます。
新たな「出会い」を探しに自然の中へ出かけてみませんか。



自然とのふれあいの場

自然公園

自然公園には、日本のすぐれた自然の風景地を保護し、自然とのふれあいを推進するために法律で指定された「国立公園」「国定公園」と、条例で指定された「都道府県立国立公園」があります。



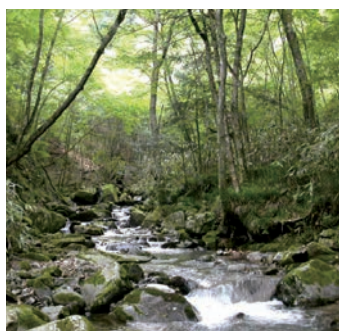
屋久島(苔の森)



尾瀬国立公園(会津駒)



丹後天橋立大江山国定公園(天橋立)



丹沢大山国定公園

自然の美しさを楽しみ、様々な自然体験ができるだけでなく、そこで暮らしてきた人々の文化や伝統にふれることもできます。

国立公園

日本を代表する傑出した自然の風景地について自然公園法に基づき環境大臣が指定します。昭和9年に瀬戸内海、雲仙、霧島が指定されたのがはじまりで、現在では、平成27年に新たに誕生した妙高戸隠連山国立公園を加え、32か所の国立公園が存在しています。

ビジターセンター等の利用施設が整備され、自然観察会等の各種行事が実施されています。

国定公園

国立公園に準ずるすぐれた自然の風景地について自然公園法に基づき環境大臣が指定し、管理は都道府県が行っています。平成27年には甑島^{こししま}国定公園が指定され、56か所の国定公園が存在しています。

国立公園と同様に各種の利用施設が整備され、自然観察会等の各種行事が開催されています。

国民公園

国の直接管理のもとに、広く国民一般に開放され利用されている公園です。皇居外苑・京都御苑・新宿御苑の3か所が国民公園として開放され、それぞれの特性を踏まえ、歴史的雰囲気、美観、静穏を保持しながら、多くの人々に利用されています。



新宿御苑



京都御苑



自然環境・生物多様性(<http://www.env.go.jp/nature/>)

エコツーリズム、自然公園関係、温泉の保護と利用など環境省の施策を紹介しています。

国立公園(<http://www.env.go.jp/park/>) 国立公園について紹介しています。

国民公園(<http://www.env.go.jp/garden/>) 国民公園について紹介しています。

国立公園・国定公園のビジターセンター

国立公園・国定公園にお出かけの際には、ぜひビジターセンターにお立ち寄りください。様々なビジュアルやジオラマなどの展示により、その公園の自然や歴史、地域の民俗や文化について、わかりやすく解説して

います。多くの施設に自然観察のための散策路や観察スポットがあり、インタープリター（自然解説員）が自然の説明や自然体験プログラムを行っています。

1 案内

公園を利用する人に対し、天候、自然の様子、周辺の散策路や他の施設などタイムリーな情報を提供しています。



日光湯元ビジターセンター

2 解説

公園内の動植物の生態など自然環境やその地域の歴史・文化を、ジオラマやパネルなどによる展示や、インタープリター（自然解説員）による説明などにより、自然への理解を深めてもらう場を提供しています。



宇久井ビジターセンター

3 体験プログラム

インタープリター（自然解説員）による自然観察会やクラフト教室などさまざまなプログラムにより、自然体験を通して、自然とふれあう楽しさ、自然を大切に思う心など、自然への理解を深めてもらうための機会を提供しています。



南阿蘇ビジターセンター

4 休憩・避難

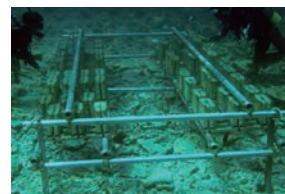
公園を利用する人の休憩場所や荒天時の避難場所などの提供を行っています。また、図書やパソコンが用意されている施設もあります。



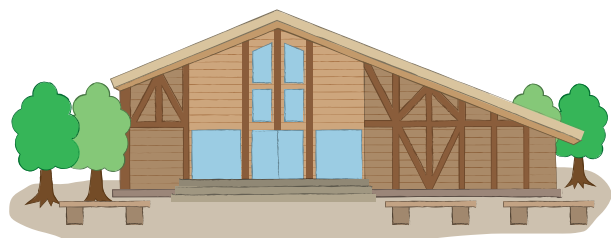
川湯エコミュージアムセンター

5 調査等

公園に関する情報提供の充実や適正な公園管理を行うため、自然環境や利用状況に関する調査等を行い、その情報提供をしています。



国際サンゴ礁研究モニタリングセンター



自然観察の森

都市やその近郊にある、身近な自然や生きものたちにふれあう場として整備された自然観察施設です。ネイチャーセンターや自然観察フィールドなどを整備し、自然観察会やガイドウォークなどが実施されています。



姫路自然観察の森

ふれあい自然塾

自然体験ハウスや宿泊施設に加えて、自然とのふれあいに重点を置いた専門スタッフによる質の高い自然体験プログラムをあわせ持つハード・ソフト一体型の施設です。



田貫湖ふれあい自然塾

いきものふれあいの里・ふるさと自然塾

豊かな自然環境が残されている中山間地域に整備された、自然体験・自然学習・冒険活動など様々な自然とのふれあい活動を推進するため、自然体験ハウスや宿泊施設(コテージ・キャンプ場)、体験活動のためのフィールドなどが整備されています。

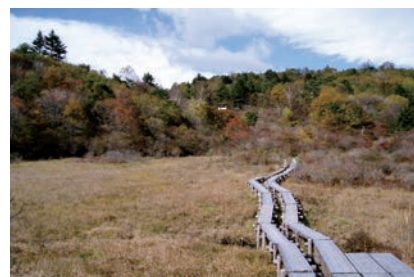


雪入ふれあいの里公園



長距離自然歩道

自らの足で歩くことを通じて、豊かな自然や歴史・文化とふれあえるよう2時間程度で歩ける家族向けのコースから本格的な健脚コースまで、各地の見どころを楽しく歩けるようになっています。



首都圏自然歩道

みちのく潮風トレイル(<http://www.tohoku-trail.go.jp/>)

東北太平洋沿岸域の自然や文化を体感でき、復興のシンボルとなる長距離自然歩道「みちのく潮風トレイル」を紹介しています。

自然ふれあい施設(<http://www.env.go.jp/nature/nats/ntr/index.html>)

国立・国定公園内にあるビジターセンター、自然観察の森、ふるさといきものふれあいの里などの施設を紹介しています。

自然とふれあう機会

以下の強化月間において、環境省では自然とふれあう機会を増やす取組を行っています。ぜひ子どもたちを連れてきてください。



みどりの月間

「みどりの日」について国民の関心と理解を一層推進し、「みどり」についての国民の造詣を深めるため、4/15～5/14を「みどりの月間」としています。期間中は、国立公園や各都道府県など全国各地で、自然観察会やハイキング等の多彩な自然とふれあう行事が実施されています。



自然に親しむ運動

自然に親しむことを通じて、自然に対する理解を深め、自然を大切にすることをはぐくむため、7/21～8/20を「自然に親しむ運動」期間としています。期間中は、全国の自然公園・景勝地・休養地・身近な自然地域での自然観察会、体験キャンプ、登山などの自然に親しむための行事を実施しています。



全国・自然歩道を歩こう月間

多くの人々が、自然や文化に恵まれた自然歩道を歩くことによって、自然への理解を深めるため、10/1～10/31を「全国・自然歩道を歩こう月間」としています。

期間中は、全国各地の自然歩道で、自然歩道を歩く大会、自然観察ウォークなど、自然に親しみながら歩く行事が実施されています。



自然大好きクラブ(愛称:NATS・ナッツ) (<http://www.env.go.jp/nature/nats/>)

自然とのふれあいをより多くの方に楽しんでいただくために、1997年7月に環境省が設立した総合情報ネットワークが「自然大好きクラブ」。自然が大好きなたくさんの方々と、自然とふれあう機会を広く提供している全国の施設や団体とのネットワークの構築とサイトでの情報提供を目的に開設しています。自然大好きクラブの情報を活用して、ご家族やお友達、学校や会社のお仲間と一緒に、たくさんの自然体験を楽しんでください。



ビジターセンターなどで参加できる 自然体験プログラム

海、山、川など自然公園や日常生活の様々な場所で、私たち人間の五感「見る」「聞く」「嗅ぐ」「食べる」「触れる」を使って自然とふれあい、「驚き」や「喜び」、「知りたい」「何かしたい」といった豊かな感性と意欲を育むため、ビジターセンターなどでは自然観察会やハイキングなど野外でのさまざまな活動プログラムを提供しています。



遺産地域周辺でブナ林探検(白神山地世界遺産地域)



ササ船レースを楽しむ
(伊勢志摩国立公園)



瀬戸内海で底引き網漁を体験
(瀬戸内海国立公園)



どんな動物や植物がいるかを調査
(富士箱根伊豆国立公園)



サンゴ礁で生きもの観察
(西表石垣国立公園)



カヌーに乗って然別湖の自然観察(大雪山国立公園)

子どもパークレンジャー

自然保護の大切さや自然とのつきあい方、また生き物に対する思いやりの心など、豊かな人間性を育むことを目的として、環境省レンジャー(自然保護官)やパークボランティアの指導を受け、国立公園などで自然保護パトロールや美化清掃、動植物の調査・保護活動、自然観察会などを小・中学生を対象に実施しています。



上信越高原国立公園で火山の地形を
観察する子どもたち



秩父多摩甲斐国立公園で動物の
痕跡調査をする子どもたち

全国自然いきものめぐりスタンプラリー
(<http://www.env.go.jp/nature/nats/ikimono-meguri/>)

各地のいきものを紹介したスタンプを設置している、全国のビジターセンター等の施設100箇所の紹介をしています。

子どもパークレンジャー
(愛称JPR: Junior Park Ranger)
(<http://www.env.go.jp/kids/gokan/jpr/index.html>)



エコツアー

エコツアーは、エコロジー（環境や自然、生き物の生きている状態や仕組みのこと）とツアー（旅行）を合わせて作られたことばです。自然を観察したり体験しながらその仕組みを学んだり、生き物や自然環境を保護する活動に参加したり、昔の貴重な遺跡を知り、それを大切に守ったりする、自然や地球にやさしい旅行のこ

とをエコツアーといいます。環境省では、地域で取り組むエコツーリズムを応援する様々な取組を行っています。特に下記の6地域では、エコツーリズム推進のための協議会を設置して、エコツーリズムの普及に熱心に取り組んでいます。ぜひ、エコツアーに参加してみてください。

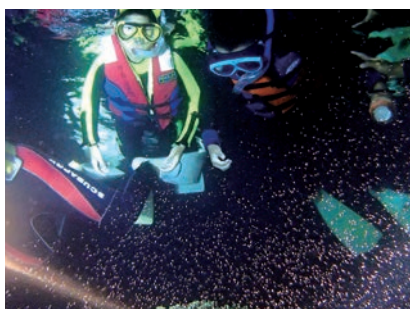
飯能市エコツーリズム推進協議会

「飯能わくわく体験遠足」遠足などで訪れる小学校等を対象とした、体験学習プログラムです。地元のエコツアーガイドが、子どもたちに五感を使った豊かな学びや感動を提供します。



渡嘉敷村・座間味村エコツーリズム推進協議会

渡嘉敷村を訪れた修学旅行生に対し、サンゴ移植の体験学習を行っています。座間味村では地元の子どもたちへサンゴの産卵学習や体験ダイビングを行っています。



谷川岳エコツーリズム推進協議会

一ノ倉沢の大岩壁をめざすツアーや谷川岳の動植物を観察するツアー、星の鑑賞会やスノーシューツアーなど、四季折々の谷川岳を楽しむことができるツアーが行われています。



鳥羽市エコツーリズム推進協議会

「島っ子ガイド」菅島の小学生たちがガイドとして菅島の魅力・見所を案内するツアーを行い、生まれ育つ地域を知り、誇りに思うとともに、コミュニケーション力を育てています。



名張市エコツーリズム推進協議会

「赤目四十八滝」での自然散策ツアー・伊賀忍者修行の地を活かした「忍者の森」での忍者修行体験ツアー、青蓮寺湖周辺でのぶどう狩り・いちご狩り・イモ掘りが体験できます。



南丹市美山エコツーリズム推進協議会

ガータロー（かっぱ）の目を通して川の環境の大切さ、生きもののすばらしさを学ぶ「ガータローになろう」などの子ども向けプログラムを行っています。



エコツーリズムのススメ (<http://www.env.go.jp/nature/ecotourism/try-ecotourism/index.html>)

全国で行われているエコツーリズムについての地域の取組を紹介しています。

地方環境事務所一覧

環境省では、地方環境事務所や自然環境事務所を中心として、現場で国立公園等を管理するための自然保護官事務所等を配置し、地域の実情に応じた機動的かつきめ細やかな環境政策を展開しています。

北海道地方環境事務所(①利尻礼文サロベツ、②大雪山、③支笏洞爺)

〒060-0808 北海道札幌市北区北8条西2丁目 札幌第1合同庁舎3階 TEL 011-299-1950

釧路自然環境事務所(④知床、⑤阿寒、⑥釧路湿原)

〒085-8639 北海道釧路市幸町10-3 釧路地方合同庁舎4階 TEL 0154-32-7500

東北地方環境事務所(⑦十和田八幡平、⑧三陸復興、⑨磐梯朝日)

〒980-0014 仙台市青葉区本町3-2-23 仙台第二合同庁舎6F TEL 022-722-2870

関東地方環境事務所(⑩日光、⑪尾瀬、⑫秩父多摩甲斐、⑬小笠原、⑭富士箱根伊豆、⑮南アルプス)

〒330-6018 さいたま市中央区新都心11-2 明治安田生命さいたま新都心ビル18F TEL 048-600-0816

中部地方環境事務所(⑯白山、⑰伊勢志摩)

〒460-0001 名古屋市中区三の丸2-5-2 TEL 052-955-2130

長野自然環境事務所(⑱上信越高原、⑲中部山岳、⑳妙高戸隠連山)

〒380-0846 長野県長野市旭町1108 長野第一合同庁舎
TEL 026-231-6570

近畿地方環境事務所(㉑吉野熊野、㉒山陰海岸、㉓瀬戸内海)

〒540-6591 大阪市中央区大手前1-7-31 OMMビル8F
TEL 06-4792-0700

中国四国地方環境事務所

(㉔瀬戸内海、㉕大山隠岐、㉖足摺宇和海)

〒700-0907 岡山市北区下石井1丁目4番1号 岡山第2合同庁舎11F
TEL 086-223-1577

九州地方環境事務所(㉗瀬戸内海、㉘西海、㉙雲仙天草、

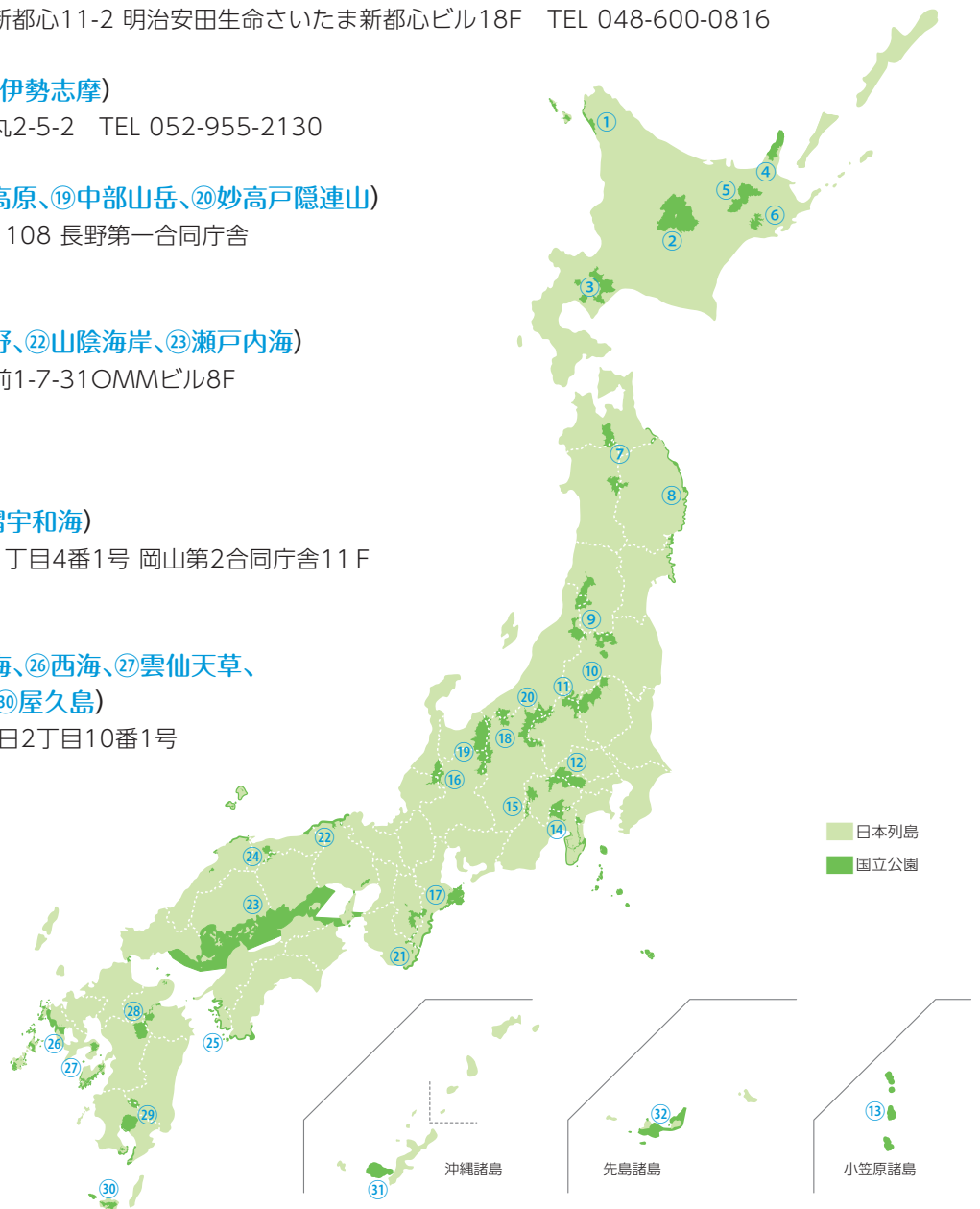
㉚阿蘇くじゅう、㉛霧島錦江湾、㉜屋久島)

〒860-0047 熊本県熊本市西区春日2丁目10番1号
熊本地方合同庁舎B棟4階
TEL 096-322-2400

那覇自然環境事務所

(㉝慶良間諸島、㉞西表石垣)

〒900-0027
沖縄県那覇市山下町5-21
沖縄通関社ビル4階
TEL 098-858-5824



環境省 自然環境局 国立公園利用推進室

〒100-8975 東京都千代田区霞が関1-2-2 電話 03-3581-3351(代表)

* 下記サイトでは、国立公園についての最新情報を提供しています。

環境省ホームページ：<http://www.env.go.jp/>

国立公園ホームページ：<http://www.env.go.jp/park/>

